

# 平成27年12月第4回幸田町議会定例会 報告

## 議会報告 12月定例会 二あらし二

平成27年12月定例会は12月3日に招集され、21日まで19日間の会期で開催されました。単行議案7件、補正予算関係など2件、計9件の議案が上程され、原案通り可決しました。陳情4件を審議し、いずれも不採択としました。一般質問は9人の議員が登壇。私は12月3日の1番目に質問に立ち、皆さんの「声」を届け実現をするため町政を質し提案しました。(質問と答弁内容の詳細は、2ページ目に掲載)



### 12月定例会 ～主な議案～

## 「こども発達センター」を整備し、両市町で共同利用へ 幸田町が3億9745万円を負担



岡崎市こども発達センターイメージ図

幸田町が3億9745万円を負担

=事業概要=

- ・障がい者が働く喜びや生きがいを見出せる施設
- ・地域の雇用を推進し地域経済に貢献できる施設
- ・ユニバーサルデザイン・環境にやさしい施設

=施設概要=

このセンターは「相談」「診療」「療育」「地域支援」の4つの機能を備える複合施設

平成29年4月1日から供用開始

〈住所：岡崎市欠町字清水田6番地4〉

## 「ハピネス・ヒル・幸田」の運営 幸田町文化振興協会 に決定 指定管理者として、3期目(平成28年4月1日～5ヶ年)



幸田町民会館



幸田町立図書館



幸田町民プール

=主な事業内容:「ハピネス・ヒル・幸田」の企画・管理を一体運営=

- 地方自治法の改正で、平成18年度からはハピネス・ヒル・幸田に『指定管理者制度』を導入。
- 『幸田町文化振興協会』は、ハピネス・ヒル・幸田の管理運営補助業務と自主事業の企画運営を進めることを目的に設立された。
- 利用者目線のサービス提供と、多くのイベント企画制作などを運営している。

債務負担行為<sup>※</sup>補正(追加): 指定管理料に要する経費 16億2500万円を可決 ※債務負担行為とは、予算の先取りのこと

Q: 防災無線で「行方不明者」の放送が多い、行方不明事案の推移と直近の発生数は？

A: 町内での発生数は、年々増加傾向にある。



平成27年 発生月日	行方不明者		無線放送日 月日	発見 日時
	年齢	性別		
5月14日	75歳	女性	同日	同日
6月21日	84歳	男性	同日	翌日
9月12日	9歳	男性	タウンメール	翌日
10月15日	79歳	男性	タウンメール	翌日
10月19日	90歳	男性	同日	翌日
12月3日	86歳	男性	同日	翌日
12月8日	81歳	男性	同日	翌日

H27.12.4 中日新聞 朝刊より

【幸田町】再開。志賀徳男、足立初雄（幸風会）水野千代子（公明）丸山千代子（共産）酒向弘廣、中根久治（無所属）の6議員が一般質問した。主な内容は次の通り。  
認知症患者の危機管理に携わるサポーター養成講座を継続する。行方不明者に関する情報を、メールなどを通じて共有する「見守りネットワーク」の構築を目指す。

Q: 本町の徘徊高齢者探索支援事業「受信端末機貸与」の内容と利用状況、周知徹底は？

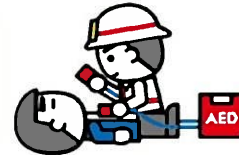
A: 65歳以上の在宅介護の介護者に貸与する制度。現在1台。広報で再度周知を図る。

Q: 認知症サポーター養成事業や、官民一体で「声掛け」の組織づくりなど「見守り施策」は、緊急課題だ。

A: 支援事業の継続など、地域と一体となった、新たな「見守りネットワーク」の構築を目指す。

「AED」の設置施策の加速を！

〈私の思い〉 住民の「救える 命を 救う」AEDの設置状況、さらなる整備と拡大は、行政の責任において強力に進めるべき課題である。今後の整備施策について問う。



(学校のAED)

「24時間使える屋外化」・「公共施設の自動販売機をAED内蔵のものに」・「コンビニ店などに設置を」

トピックス

交通事故「ゼロ」のまちづくりを実現しましょう！

一人ひとりの交通安全意識の高揚



安全なまちづくりの取組みの推進

改善



「道路側線埋没」



「カーブミラー埋没」



「カードレール埋没」

